「平成２１年度　普及に移す成果」

たい肥を使った米づくり

「たい肥ナビ！水稲版」

みんなで進めよう 茨城農業改革

茨城県畜産センター
環境保全研究室

「たい肥ナビ！水稲版」をつかうと、牛ふんたい肥を施用したコシヒカリ栽培のための施肥設計が、短時間で簡単にできます。マイクロソフト社の Excel2003 で作成しています。茨城県畜産センターホームページから無償でダウンロードできます。

牛ふんたい肥の施用量

牛ふんたい肥の施用量は、乾田１ｔ／10a、湿田 0.5ｔ/10a を基準にしています。任意の施用量を入力して肥料施肥量を計算することもできます。

たい肥生産農家の情報

茨城県内の畜産農家の牛ふんたい肥生産情報をもとにした施肥設計ができます。たい肥の肥料成分値のほか、販売価格・配送・散布サービスの有無などが掲載されています。たい肥ご購入の参考にして下さい。

たい肥の連用効果を考慮できます。

たい肥を連用すると、過去に施用したたい肥からも窒素が供給されるので、肥料窒素量を低減できます。

土壌診断をおすすめします。

「たい肥ナビ！水稲版」では、土壌診断(リン酸緩衝液抽出法による地力窒素)を考慮した施肥設計ができます。土壌診断は**県内各農林事務所経営･普及部門および農業改良普及センター**にご相談下さい。

「たい肥ナビ！水稲版」のダウンロードはこちら↓

http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/chikuse/suitou_taihinavi.html

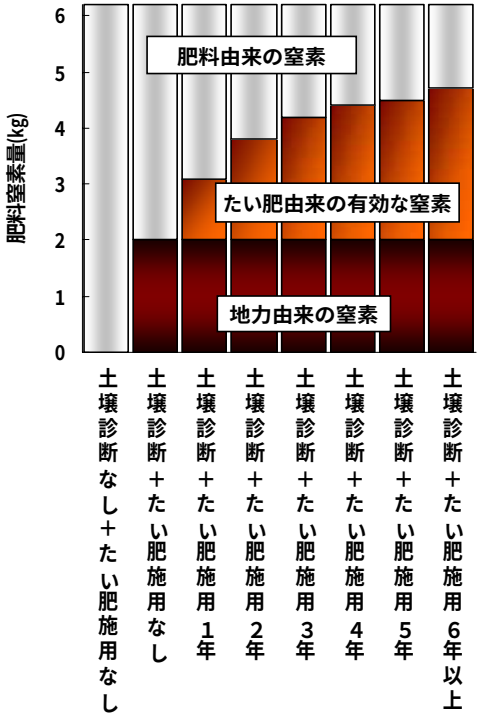
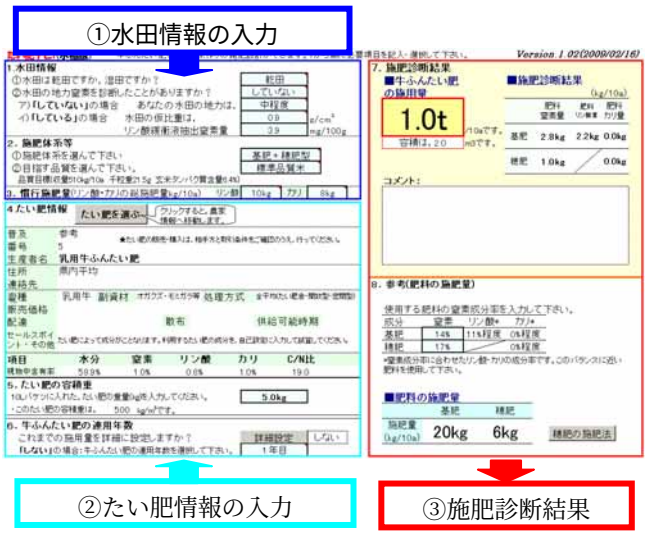


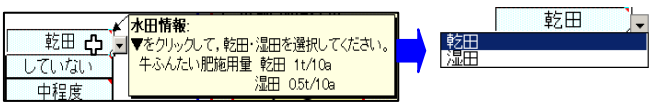
図 1 水稲栽培の施肥窒素量の変化(ｲﾒｰｼﾞ)

「たい肥ナビ！水稲版」の使い方



「たい肥ナビ!水稲版」を開けると、左の画面になります。①水田情報②たい肥情報の各項目を上から入力すると、③施肥診断結果が表示されます。

入力するセルをクリックすると各項目についての情報が、▼をクリックすると選択項目が表示されます。



ホームページにある「「たい肥ナビ!水稲版」の使い方(PDF)」を併せてご覧下さい。

本システムは、茨城県農業総合センター農業研究所の平成 20 年度主要成果「水田における牛ふん堆肥連用時の水稲施肥診断法」をもとに作成しています。

＜お問い合わせ先；茨城県畜産センター環境保全研究室　　電話 0299（43）3333(代)＞